



本市の平成24年度の決算がまとまりました。皆さんが納めた税金や、国や県からのお金がどのように使われたかをお知らせします。

また、財政状況を客観的に表す指標（健全化判断比率等）および資産や負債の状況（バランスシート）についてもお知らせします。

※総務省の地方財政状況調査に基づく会計区分、数値です。

財政力指数は前年度を上回る

財政上、一定の基準（財政力指数が1）以上に市税等の収入がある場合、富裕団体として地方交付税のうち普通交付税が交付されません。平成24年度、本市の財政力指数は、0.826となり、昨年度（0.804）に引き続き交付団体となりました。

普通会計

平成24年度の普通会計の決算額は、歳入が338億6054万円、歳出が313億6524万円です。差引残高24億9530万円が翌年度に繰り越したりました。

歳入は7千6百万円の増加

歳入は、平成23年度に比べ7644万円、0.2%の増加となりました。

【市税の減少】 固定資産税の減少などにより、前年度と比べ2億2479万円、1.8%の減少となりました。

【市債の増加】 総合文化会館再整備事業、総合運動公園整備事業などの増加により、前年度と比べ6億9900万円、33.9%の増加となりました。

歳出は11億4百万円の増加

歳出は、平成23年度に比べ11億374万円、3.6%の増加となりました。

【目的別内訳の特徴】 主な増減の特徴は、前年度と比べ衛生費で6億4534万円、28.1%（ごみ処理施設建設事業に伴う負担金などの増加によるもの）、教育費で7億961万円、20.4%（総合運動公園用地取得費などの増加によるもの）増加し、一方で、災害復旧費については6億8008万円、84.1%の減少となっています。

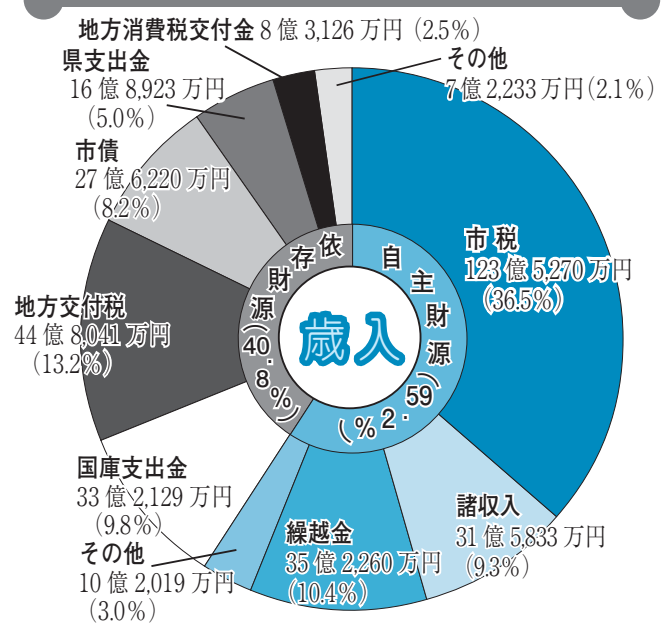
【性質別内訳の特徴】 義務的経費の構成比は36.9%で、前年度に比べ1.4%減少しています。普通建設事業費の構成比は17.1%で、総合文化会館再整備事業、総合運動公園整備事業などの増加により、前年度と比べて2.4%増加しています。

その他の経費のうち、積立金・出資金・貸付金の構成比は前年度と比べて3.2%増加（基金積立金の増加などによるもの）しています。

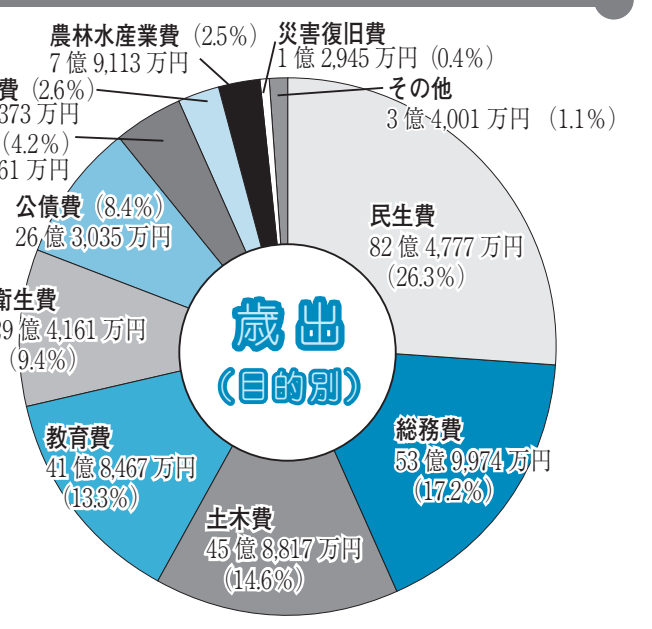
市有財産の状況

公有財産	土地（借地を含む）	3,686,031 m ²
	建物	293,476 m ²
	山林	258,854 m ²
	有価証券	1億9,428万円
	出資による権利	1億1,028万円
物品		874品
債権		1億5,890万円
基金	財政調整基金など	97億3,391万円

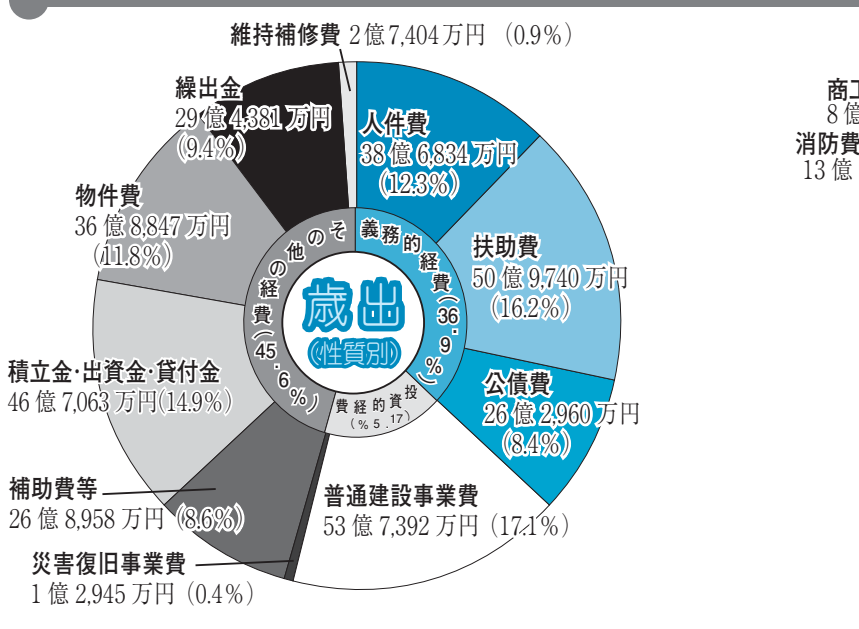
歳入 338億6,054万円



普通会計



歳出 313億6,524万円



【用語解説】

歳入

- 国庫支出金：市が行う特定の事業費の一部または全部に対し、国から支出されるお金。
- 地方交付税：国税のうち、一定の基準で市に交付されるお金。
- 市債：市が事業を行うために国や県、銀行、市民などから借り入れるお金。
- ※長期にわたって返済することにより、世代間の負担の公平を図るという意味もあります。
- 県支出金：市が行う特定の事業費の一部または全部に対し、県から支出されるお金。
- 地方消費税交付金：県が徴収する地方消費税から、一定の基準で市に交付されるお金。

歳出（目的別）

- 民生費：高齢者、障がい者、児童などの福祉全般にかかる経費。
- 総務費：市役所の全般的な事務にかかる経費。
- 土木費：道路や公園、市営住宅の整備などにかかる経費。
- 教育費：小・中学校の運営や社会教育にかかる経費。
- 衛生費：市民の健康、ごみ処理などにかかる経費。
- 公債費：市が事業を行うために借り入れたお金の返済金。
- 消防費：消防活動、消防施設の整備などにかかる経費。
- 商工費：商工業の振興、観光事業などにかかる経費。
- 農林水産業費：農林業や畜産業にかかる経費。
- 災害復旧費：災害により被災した施設等の復旧にかかる経費。

歳出（性質別）

- 人件費：職員の給与・退職金などにかかる経費。
- 扶助費：ごみ医療費助成や生活保護などにかかる経費。
- 普通建設事業費：道路・公園・河川・建物などの整備にかかる経費。
- 補助費等：消防やごみ処理などへの負担金及び補助金。
- 積立金・出資金・貸付金：基金の積み立て、水道事業への出資、商工振興資金など貸し付けるお金。
- 物件費：事業の推進や、公共施設の維持管理などにかかる経費。
- 繰出金：介護保険、国民健康保険などの特別会計へ繰り出すお金。

特別会計 特定の事業を行うために、普通会計と区別して経理される会計です。

会計名	収入済額	支出済額
国民健康保険	92億3,564万円	85億9,034万円
後期高齢者医療	6億3,725万円	5億7,742万円
介護保険	44億8,492万円	43億6,876万円
宅地造成事業	4億4,049万円	3億4,192万円
公共下水道事業	32億6,248万円	31億9,170万円
農業集落排水事業	4億6,996万円	4億2,409万円
簡易水道事業	6,969万円	5,382万円
合計	186億43万円	175億4,805万円

※介護保険は、保険事業勘定・介護サービス事業勘定の合計額です。宅地造成事業は、インターチェンジ周辺開発事業です。

水道事業会計 真岡市では、水道事業を企業会計としています。

区分	収入額	支出額
収益的収支	13億8,769万円	11億3,518万円
資本的収支	3億8,557万円	8億7,739万円

平成24年度末市債（元金）残高の状況

会計	残高
普通会計	235億4,155万円
特別会計	5億
宅地造成事業	5億
公共下水道事業	130億1,409万円
農業集落排水事業	36億9,145万円
簡易水道事業	2億5,052万円
計	174億5,606万円
水道事業会計	58億5,988万円
合計	468億5,749万円